

令和4年6月定例会

令和4年6月10日

市長説明要旨

【日程第 4】

本日、令和 4 年 6 月定例会を招集し、補正予算及びその他の案件について御審議をお願いするものでありますが、先ほど全国市議会議長会から、議長在職 8 年以上として吉田清孝議員が、議員在職 25 年以上として畠山富勝議員が、議員在職 20 年以上として船木正博議員が永年勤続特別表彰を受けられました。また、副議長在職 4 年以上として小松穂積議員が永年勤続表彰を受けられました。

表彰を受けられました皆様には、長い間本市の発展にご尽力を賜りました。そのご功績に対し、深く敬意を表するものであります。今後ともご自愛くださいまして、市政の発展に一層のご貢献を賜りますようお願い申し上げます。

ただいま議題となりました議案第 46 号の一般会計補正予算について、提案理由の御説明を申し上げます。

本議案は、令和 3 年度からの継続事業である住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金について、支給対象を拡充して給付するための経費を措置したほか、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から実施する子育て世帯生活支援特別給付金給付事業に要する経費を措置するもので、歳入歳出それぞれ 8,310 万円を追加し、補正後の予算総額を 164 億 2,420 万円とするものであります。

以上、提案理由について御説明を申し上げます。よろしく御審議の上、御可決賜りますようお願い申し上げます。

【日程第 5】

今定例会で御審議いただきます案件は、条例及び補正予算など 8 件ではありますが、提案理由の説明に先立ちまして、諸般の報告を申し上げます。

まず、燃油等物価高騰の影響と対策について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ウクライナ危機に急激な円安が加わり、4月の消費者物価指数が全国で前年比 2.1 パーセント、秋田市で 3.3 パーセント上昇するなど、燃料や食料品等の生活必需品の価格が軒並み高騰し、市民生活はもとより、コロナ禍からの立ち直しに懸命に取り組む市内の事業者の経営に大きな影響を与えております。

こうした状況に対処するため、先般国から、コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」が示されたところであります。

本市におきましても、先ほど御可決いただきました低所得の子育て世帯や住民税非課税世帯など、生活困窮世帯への給付事業を速やかに実施に移すとともに、国からの交付金を活用した市独自の対策に係る補正予算を追加提案し、物価高に直面する市民の負担軽減や、観光、運輸、農林水産などの事業活動への影響低減に向け対策を講じてまいります。

次に、新型コロナウイルス感染症への対応についてであります。

5月に入り、秋田県内では感染者数が減少傾向で推移しましたが、本市では、社会福祉施設や保育園でクラスターが発生したことか

ら、5月の新規感染者数が、月別で過去最高となったところであります。

一方、3回目のワクチン接種率は、5月末現在、全人口に占める割合で約78パーセントとなっており、全国平均に比べ約20ポイント、県平均に比べても約10ポイント上回って推移しており、こうしたことも奏効し、6月に入り市内の感染者数も落ち着いてきております。

重症化予防を目的とした4回目のワクチン接種については、60歳以上の方や基礎疾患等がある方を対象に、7月中旬からの高齢者施設を皮切りに、7月下旬からは集団接種と個別医療機関での接種を開始することとしており、5歳から11歳までの小児への接種を含め、今後も滞りなく進めてまいりたいと思います。

市民の皆様には、引き続き基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いいたします。

次に、観光の回復状況と市内経済の活性化についてであります。

3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークとなった今年は、県外からの観光客にも回復の動きが見られ、コロナ禍前の水準には及ばないものの、前年に比べて宿泊客数が約1.6倍となったほか、日帰りの入込が2倍を超える施設も出るなど、本市の観光に明るい兆しが見えてまいりました。

市ではこの大型連休に合わせて、市内観光施設に共通で入場できる「観光プレミアムパスポート」の販売を始めたところですが、こちらにも連休期間中の利用実績が約4,000枚と、前年の2.4倍となるなど、好調な滑り出しを見せております。

こうしたコロナ禍からの回復の足取りを確かなものとするため、

市では新たな観光宿泊支援策として、7月から宿泊者全員に、市内での飲食やお土産購入、ガソリン給油など広く利用可能な2千円分の商品券「おが割クーポン」を配布し、市内周遊の促進や滞在時間の延長につなげてまいります。

また、コロナ禍により大きな痛手を受けている市内飲食店・小売店舗等に対する経済的支援策として、プレミアム率30パーセント、発行総額2億6千万円の商品券を7月1日から販売することとしており、こうした取組を通じて、市内経済の回復を後押ししてまいります。

次に、船川港の活性化の動きについてであります。

船川港については、昨年度取りまとめた「船川港港湾ビジョン」をもとに、これまで私が先頭に立って、港の機能強化と整備促進を国や県に要望してまいりました。

こうした中、今般、県では、船川港を風車建設における補完港として整備・活用するため、港湾計画改訂に向けた調査等を実施することとし、関連予算が現在開会中の6月県議会に上程されたところであります。

本市といたしましては、調査に協力しながら、できるだけ早期に港湾計画の改訂や港の拡張など具体の整備に着手するよう、引き続き、国や県に働きかけていくとともに、男鹿海洋高校等との連携を更に強め、洋上風力発電事業を担う人材育成にも力を入れてまいりたいと考えております。

次に、クルーズ船の寄港中止について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたことから、本年度

は、クルーズ船の本県への入港が計画されており、船川港にも、8月5日に「飛鳥II」が寄港する予定でありましたが、運航会社より県を通じて、今回の寄港を中止する旨連絡が入りました。

先日、運航会社の幹部が本市を訪れ、原因は、船の電気関係機器に不具合が生じ、一定の範囲の速度で運航せざるを得ない状況から、船川港に寄港する時間を確保できず、やむを得ず横浜港から秋田港に直行する日程となってしまったことと、併せて、来年は通常通りのスケジュールに戻し、船川港にも寄港したい旨の説明がありました。

今回の中止は大変残念ではありますが、来年以降の確実な寄港と定着化に向け、県と一体となって、運航会社や旅行代理店への誘致活動を継続してまいります。

次に、男鹿森林組合の広域合併についてであります。

森林組合の経営基盤の強化を図るため、男鹿森林組合、五城目森林組合、湖東森林組合が参画し、去る5月30日、「男鹿南秋田森林組合合併推進協議会」が設立され、来年4月1日の合併に向け、今後、協議が進められることになりました。

広域合併により、事業の推進体制や経営基盤が強化され、様々な課題の解決や林業を取り巻く状況変化に迅速・柔軟に対応できるものと期待しております。

市としましても、合併を後押しするとともに、森林組合との連携を更に深め、本市の森林整備、林業振興を推進してまいります。

次に、寒風山の「草原の里 100 選」への選定についてであります。

寒風山の環境と景観の保全につきましては、平成 31 年に「寒風山山焼き実行委員会」によって山焼きが再開されて以降、機運が盛り上がってきており、昨年度開催した寒風山ビジョン策定のワークショップにおいても、地元の皆様や関係する事業者の方々など、多くの参加をいただき活発な意見を頂戴したところであります。

こうした中、このたび、寒風山が阿蘇山など全国 33 カ所の草原とともに、東北で唯一「未来に残したい草原の里 100 選」に選定されました。

「草原の里 100 選」は、草原で営まれてきた人と自然の関わりを日本全体で共有すべき価値と捉え、次世代に受け継いでいくことを目的に、京都大学の湯本教授や養老孟司氏などが選考委員となって行われたものであります。

このあと、秋ごろに表彰式やシンポジウムが予定されていると伺っており、寒風山の優れた景観と草原の豊かさを全国にアピールする絶好の機会となりますので、引き続き、地域の皆様と一体となって寒風山の環境保全と魅力の発信に努めてまいります。

次に、チャレンジデーについてであります。

今回で 11 回目の参加となるチャレンジデーが、先月 25 日に開催され、本市の参加者数は 1 万 4,972 人で、参加率は 58.6 パーセント、対戦相手の北海道名寄市の参加率は 36.8 パーセントでありました。

チャレンジデー当日は、なまはげ健康ウォーキングや元ラクビー日本代表伊藤護氏によるラクビー教室など市主催の事業を実施したほか、各地区公民館では、グラウンドゴルフ大会や田園ウォ

ーキング、ニュースポーツ教室などが行われました。

引き続き、生涯スポーツ活動などを通し、健康寿命の延伸に向けた取組を進めてまいります。

次に、夏に向けての大会・イベントについて申し上げます。

全国的に行動制限が解除される中、本市においても一昨年・昨年と中止していた大会やイベントが、感染対策をしっかりと講じながら、3年ぶりの再開に向けて、それぞれ準備が進められております。

まず、全国男鹿駅伝競走大会であります。

男鹿に初夏の訪れを告げる本大会は、6月25日に男鹿市総合運動公園をスタート・ゴールに市内全域を会場に開催されます。

今大会から、大会名に「全国」を冠し「全国男鹿駅伝競走大会」として新たな一步を踏み出すこととしており、参加チームには、大学の部に青山学院大学や東洋大学、高校男子の部に大牟田高校や洛南高校、高校女子の部に立命館宇治高校や仙台育英学園高校など強豪校が目白押しで、全国大会に相応しい白熱したレース展開が期待されます。

日本海メロンマラソンにつきましては、7月31日に館山近隣公園をスタート・ゴールに開催されます。

「地場産品のPR」と「スポーツを通して地域を元気にしたい」との思いから始まった本大会は、真夏の開催と参加賞のメロンで全国的にも人気が高く、34回目を迎える今年も、既に2,000名を超えるエントリーがあります。

今大会から、小学生を対象に新たな部門を設けるなど参加枠を

拡大し、「競技力の向上」と「スポーツを通じた健康づくり」を更にステップアップさせた大会を目指すこととしております。

男鹿日本海花火につきましては、ここ2年間、市内数カ所で一斉に花火を打ち上げ、自宅近くで楽しめる形で「なまはげ花火」と題して行ってきましたが、今年は、3年ぶりに例年どおり、OGAマリンパークを会場に8月14日に開催されます。

コロナ禍において学校行事やイベントの中止、自粛生活の長期化等により、楽しい思い出が作りにくい環境になった子供たちに笑顔を取り戻してほしいという願いを込めて「Presents～子どもたちの未来へ～」と題し、3年分の希望と元気を市民の皆様にお届けすることとしています。

このほか、7月29日から31日までの3日間、船川港内特設会場において「OGA NAMAHAGE ROCK FESTIVAL」の開催が予定されており、こうした大会やイベントの実施によって、交流人口の拡大につながるものと考えております。

市としましては、それぞれの実行委員会と連携を取りながら、感染防止対策と社会経済活動の両立を図ってまいります。

次に、先月31日に出納閉鎖しました令和3年度の一般会計決算の概要について申し上げます。

令和3年度においては、新型コロナウイルスワクチンの接種事業を推進し、市民の安全・安心の確保に努めたほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用しながら、市内経済の下支え対策、アフターコロナを見据えた観光や農業・漁業の

振興、船川港の将来ビジョンの策定など、本市の将来の発展に向けた事業に積極的に取り組んでまいりました。

歳入総額は、184億2,809万円、歳出総額は、179億7,418万円となり、このうち繰越明許費等に係る繰越財源を除いた実質収支では、3億8,157万円の黒字決算となっております。

また、令和3年度の男鹿みなど市民病院事業会計決算の概要につきましては、新型コロナウイルス感染症の院内クラスターの発生や感染拡大の影響により、前年度に比べ、入院患者、外来患者ともに減少したものの、秋田中央保健所管内で唯一、新型コロナ患者の受入病床を有する拠点病院として、患者の受入れ等に積極的に対応してまいりました。

その結果、関連の国県補助金が増加したことなどにより、収支の改善が図られ、7,432万5,000円の純利益を見込んでおり、資金不足額も発生しない見込みであります。

以上で諸般の報告を終わり、次に提案理由の御説明を申し上げます。

まず、条例案であります。議案第47号は、租税特別措置法及び租税特別措置法施行令の一部改正に伴い、条文を整理するため、本条例の一部を改正するものであります。

議案第48号は、教育効果の向上を図るため、潟西中学校を男鹿東中学校へ統合することに伴い、本条例の一部を改正するものであります。

次に、予算案であります。議案第49号の一般会計補正予算は、

新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ、市民の安全・安心の確保やアフターコロナを見据えた農業や食品産業の基盤強化、船越小学校の大規模改修に向けた実施設計などに要する経費を措置したもので、歳入歳出それぞれ2億2,960万円を追加し、補正後の予算総額を166億5,380万円とするものであります。

次に、報告案であります。報告第2号は、令和3年度の一般会計歳出予算のうち、本年度に繰り越した経費等について報告するものであります。

報告第3号は、令和3年度の一般会計歳出予算のうち、本年度に事故繰り越した造林事業及び公民館管理費に係る経費について報告するものであります。

報告第4号は、下水道事業会計資本的支出予算のうち、本年度に繰り越した流域下水道事業施設建設負担金に係る経費について報告するものであります。

報告第5号及び報告第6号は、株式会社おが地域振興公社の令和3年度決算及び令和4年度事業計画について報告するものであります。

以上、提案理由について御説明を申し上げます。よろしく御審議の上、御可決賜りますようお願い申し上げます。

